



刑法犯20年 以来の増加

2994件、窃盗6割

23年速報値

県警が2023年に県内で確認した刑法犯は2994件(速報値)で、22年より200件多かった。増加に転じたのは20年以來。自転車盗や万引が大幅に増えた。新型コロナウイルス感染症の5類移行で外出制限がなくなり、人の動きが活発化したことが背景にあるとみられる。特殊詐欺は被害額が3億円を超え、件数も前年より増えた。

特殊詐欺被害3億円超え



罪種別では窃盗が最も多い1932件(前年比14.9%増)で、全体の64%を占めた。手口は▽自転車盗554件(128件増)▽万引515件(44件増)▽車上狙い113件(29件減)▽住宅侵入盗109件(15件増)の順。盗まれた自転車は7割以上が無施錠だった。現場は約4割がJR駅の駐輪場。中学生や高校生、大学生らが被害に遭うケースが目立ち、県警は「学校などと連携し、鍵かけの徹底を呼びかける」と強調する。万引は大型商業施設やドラッグストアで多発した。殺人や強盗などの凶悪犯は31件(10件増)。1月には中津市で母親(4)が小学1年の長女(当時7)の首を絞めて窒息死させたときとされる事件が起きたほか、8月には父親(67)が妻(38)と養子の男児(9)を殺害したとして逮捕された。

特殊詐欺は相談を含め206件(20件増)、3億189万円(約9233万円増)の被害を確認した。1千万円を超える被害が8件発生。パソコンの修理費や有料サイトの利用料などの名目で金銭をだまし取る架空請求が137件(5件増)と続発した。

県警安全・安心まちづくり推進室の高橋直樹室長(48)は「コロナ禍が一段落して外出する機会が増えるのに伴い、犯罪に手を染める人も多くなっていると思われる。能登半島地震に乗じ、被災地支援を装って現金などを要求する詐欺の発生が懸念される。十分に注意してほしい」と話した。(菅嶋悠)

〔問①〕 2023年に大分県内で確認した刑法犯は2994件でした。22年と比べて何件の増減ですか。
200件の増加

〔問②〕 罪種別で最も多い犯罪は？ 何件で、全体に占める割合は？ また、その手口で多いものを順に2つ挙げよ。
(窃盗) (1932件、64%) (自転車盗、万引)

〔問③〕 中学生や高校生、大学生らが自転車盗の被害に遭うケースが目立ちます。その自転車はどういった状態だったから、盗まれやすかったのでしょうか。
無施錠

〔問④〕 ささまざまな犯罪を減らすために自分たちができることを考えよう。
自由記述